

2017年 日本有機農業学会 社会科学系テーマ研究会
「有機 JAS の現状と課題」

日本における有機認証制度としての有機 JAS が始まって約 17 年になりますが、有機 JAS の運用が開始して以来、日本の有機農業は様々な課題に直面してきました。そこで今回の研究会では、有機農業の技術や農法にも関係する資材の問題から有機農産物流通の変化や地域の現場の有機生産者の状況、さらには有機 JAS 制度の運用的な問題まで、今日的な視点から有機 JAS の現状と課題を深く掘り下げて検討します。

日 時： 2017 年 6 月 24 日(土) 13:30～17:00

場 所： 立教大学 池袋キャンパス 11 号館 3 階 A304 教室

参加費： 500 円（資料代）

（事前申し込み不要ですので、当日直接会場にお越しください。）

プログラム

13:30～ ご挨拶 日本有機農業学会会長 澤登早苗

13:35～ 解題「有機 JAS 基準・認証の沿革と問題点」

特定非営利活動法人有機農業推進協会・埼玉大学名誉教授 本城昇

13:45～ 報告 1「有機 JAS 制度と認定生産者の問題について」

特定非営利活動法人有機農業推進協会 外園信吾

報告 2「有機農産物流通の変化と有機 JAS の関係について」

特定非営利活動法人有機農業認証協会・大阪商業大学 中塚華奈

報告 3「有機農業者にとっての有機 JAS－鹿児島からの報告－」

特定非営利活動法人鹿児島県有機農業協会・鹿児島大学名誉教授 岩元泉

報告 4「有機農業者にとっての有機 JAS－山梨からの報告－」

特定非営利活動法人八ヶ岳有機農業者協会 瀬戸義和

報告 5「有機 JAS 制度の運用を振り返って」

株式会社アファス認証センター 渡邊義明

16:10～ 総合討論

コーディネーター 特定非営利活動法人有機農業推進協会・埼玉大学名誉教授 本城昇